



創誠健和



旭川中学校 学校通信 4月号

令和4年度のスタートにあたり

令和4年 4月 7日発行

春の暖かさとともに、桜の季節が待ち遠しく感じる頃となりました。沖縄からスタートした桜前線は北上を続け、各地で開花。北海道には、5月初旬に津軽海峡をわたって上陸でしょうか。桜前線はあさひ山にも駆け上がり、大雪山系などでは6月下旬頃まで楽しむことができますが、今年は何とか笑顔でお花見を楽しむことができることを、祈るばかりです。

さて、そんな平和で明るい未来への一步を感じさせる本日、本校においては、着任式と始業式、そして、入学式を挙行することができ、関係の皆様に対し、改めて、心より感謝を申し上げます。今年度も、笑顔でつながる地域づくり、そして、子どもたちの豊かな成長のため、力を尽くして参ります。変わらぬお付き合い、そしてご支援、ご協力をお願いいたします。

令和4年度「学級経営」について

私たち教職員は、この伝統ある旭川中学校において勤務できるという名誉を心にかみしめ、学ぶ子どもたちのために次のことを実践して参ります。

- ①子どもたちが、ふるさ旭川への愛着を持ち、夢や目標の実現に向け、生きる力を身に付けるよう教育活動を進め参ります。
- ②あさひやま地域に居住する市民の熱い想いと期待、励ましに十二分に応えられるよう、生徒、保護者、地域と一体・一丸となって、本校の発展に努めて参ります。
- ③この小中一体型校舎に市民が願う教育の魂を吹き込み、新たな伝統を築いて参ります。

令和4年度 旭川市立旭川中学校 学校経営方針 イメージ ～令和の日本型教育の推進～

学校教育目標

～開拓精神を受けつぎ輝かしい未来を築く心身共にたくましい生徒の育成をめざして～

生徒像 ◆自ら学び、知性豊かな人 ◆美を愛し、豊かな心を持つ人 ◆健康な身体を養い、実行力のある人
校訓 創 誠 健 和
学校が目指す姿 共 育

◆授業・家庭・地域が強い信頼関係で結ばれ、生徒と共に学び育つ『共育』の精神をもち続ける

～授業改善により「話し合い」から「学び合い」へと変革学校全体に「分からない・できないと言える風土」を創り上げる～

どんな授業？どんな学校？

生徒がハツとして 聞きたくなる！
生徒がハツとして してみたくなる！
生徒がハツとして 考えてみたくなる！
一人一人の居場所があり、
安心して楽しく生活できる
学年経営や学級経営をチームで目指します

どんな地域？

～地域の方々はどうな後ろ姿を～
開拓の精神が息づく地域基盤が強い
あさひやまを愛し
あさひやまに生きるひとのストーリー
『あさひやまPride Project』を展開します

どんな家庭？

～保護者はどんな後ろ姿を～
子どもたちは、すでにこの地域の担い手
支援される側から、支援する側へ。
学校とPTA・同窓会等々が目標共有！
「1Upキャンペーン」等の拡充

一緒に後ろ姿を意識して「振る舞い教育」を実践
そこから地域全体が学び舎の「スクールコミュニティ」へ発展

保護者・地域の皆様へ 令和4年度からスタートする実践について



～思春期の繊細な内面へのきめ細かな対応のために～

多くの中学生は、大人同様、不安やストレスを抱えています。また、それらを乗り越えるために、支えを必要としている生徒も多いことから、今年度は、これまで以上に生徒の不安や悩み、心の揺れなど、生徒一人一人の兆候を早期に、かつ丁寧にとらえるため、相談体制の充実や授業改善を推進します。同時に、教職員が生徒一人一人に向き合う時間を確保するため、以下の実践に取り組みます。

★『チーム担任制の導入』

全生徒に対する「学びの保障」と、本来、教職員が担うべき業務に対してより専念できる環境を整えるため、これまで以上に教職員の連携を密にし、強固な協働体制を確立します。

これまでの **学級担任** ⇒ これからは **『学活担任』** へ
副担任 ⇒ **『学年担任』** へ

※これまでの学級担任は、各学級のホームルームティーチャーとして「相談窓口」の主担当。35時間の学活の主担当となる。

※これまでの学級担任は、家庭訪問や個別面談、教育相談や学習相談等を主担当し基本的な窓口となる。

学年全体『チーム』で取り組むこと

1. 日常の学年経営

【ポイント】

◎日常行われる様々な業務について、学年の教師が積極的に関わるようにする。

【学年の取組】

■朝の家庭連絡、不安を抱えている生徒への対応等を、学年全体で分担。

[生徒の変容などをスピーディに的確にキャッチし共有します]

■朝の会や帰りの会、給食指導を学年の教師全体で分担。

[指導力、隙間を埋め、柔軟に対応します]

■学活や道德の授業は、学年全体で担う。

[生徒のわくわく感を引き出す授業改善と授業力向上に取り組めます]

■積極的に学年の授業を交流するなど、他の授業での生徒の様子を把握。

[生徒の良さを様々な角度から捉えます。]

■休み時間や昼休みは、教室や廊下など、生徒が活動する場所での見守り。

[生徒の良さを様々な角度から捉えます。]

2. 教育相談や生徒への対応

【ポイント】

◎生徒たちが多くの学年の教師と関わりをもてる場面を設定する。

【全体の取組】

■教育相談は、学活担任は学級全員と行い、担任以外にも相談したい教師を希望できるようにし、相談したい教師と相談できる体制をつくる。

■不安を抱える生徒に対しては、ケースに応じて担任以外の学年の教師、養護教諭、部活動顧問など、関わりのある教職員が柔軟に対応する体制を充実させる。

■突発的な対応は、他学年も含めたチームで連携し複数で対応する。

★『部活動の副顧問チーム制を導入』

令和4年度の部活動は「野球部・ソフトテニス部(男女)・女子バレーボール部・卓球部(男女)柔道部・吹奏楽部・美術部の9部とし、それぞれに主顧問を配置。昨年度まで配置していた副顧問は、運動系と文化系に複数名配置し、それぞれの活動をチームでサポートします。

この他にも子どもの学びを保障する様々な実践に取り組んで参ります。何かございましたら学校まで気軽にお問い合わせください。(☎36-1007 担当:教頭 中島)